

くらしをまもり、未来をつくる

2023 春季生活闘争ニュース

2023. 5. 10 — 第 21 号 — 連合北海道 春季生活闘争本部

2023 年春季生活闘争 第 5 回回答集計結果について

連合本部は、2023 年春季生活闘争につき、5 月 8 日（月）10 時の時点で取りまとめた回答集計について、次の通り発表した。

- 月例賃金改善（定昇維持含む）を要求した4,833組合中3,686組合が妥結済み（76.2%）。うち賃金改善分を獲得した組合は2,146組合・58.2%で、組合数・割合とも2014闘争以降最も高い。
- 平均賃金方式で回答を引き出した3,681組合の「定昇相当込み賃上げ計」は加重平均で10,923円・3.67%（昨年同時期比4,763円増・1.57ポイント増）、うち300人未満の中小組合2,478組合は8,328円・3.35%（同3,331円増・1.33ポイント増）となった。4月末時点の結果としてはいずれも、比較可能な2013闘争以降、額・率とも最も高く、依然「賃上げの流れ」はしっかりと引き継がれている。
賃上げ分が明確に分かる2,518組合の「賃上げ分」は6,047円・2.14%、うち中小組合1,500組合は5,104円・2.00%となった。4月末時点で2%を上回ったのは、賃上げ分の集計を開始した2015闘争以降初めてである。
- 有期・短時間・契約等労働者の賃上げ額は、加重平均で、時給56.48円（同31.94円増）・月給8,849円（同3,773円増）である。引上げ率は概算でそれぞれ5.35%・3.96%となり、引き続き一般組合員（平均賃金方式）を上回るとともに比較可能な2015闘争以降で最も高い。

連合北海道は、5 月 8 日（月）10 時の時点で取りまとめた回答の集計を行った

- 連合北海道にエントリーのあった 200 組合中 140 組合が妥結した（70%）。そのうち、集計可能な回答を引き出した組合は 132 組合（昨年同時期比 14 組合増）、人数は 40,606 人（同 3,877 人増）であった。
- 月例賃金の加重平均は、8,714 円・3.29%（同 3,267 円・1.23 ポイント増）となり、同様の集計を始めた 2016 年闘争以降で最も高い数値となっている。
- 回答を引き出した 132 組合のうちベースアップ分が明確にわかる組合は 100 組合、全体では 5,012 円・1.80%（同 3,591 円・1.27%増）であったが、うち 300 人未満の中小 71 組合では 5,094 円・2.00%（同 3,299 円・1.21%増）となり、300 人以上の組合の 4,991 円・1.75%（同 3,661 円・1.28%増）および全体集計を上回った。

【組合規模別賃上げ状況 2023 年 5 月 8 日 連合北海道集計】

組合規模	集計組合数	対象組合人数	加重平均 妥結額 (定昇・ペア込み)	昨年実績額 (定昇・ペア込み)	昨年比
～99 人	61	2,808 人	6,931 円(3.17%)	3,867 円(1.76%)	3,064 円(1.41%)
100～299 人	39	6,717 人	8,118 円(3.58%)	4,759 円(2.08%)	3,359 円(1.50%)
300 人未満計	100	9,525 人	7,774 円(3.46%)	4,531 円(2.01%)	3,243 円(1.45%)
300～999 人	26	12,931 人	9,280 円(3.37%)	4,556 円(1.84%)	4,724 円(1.53%)
1,000 人～	6	18,150 人	8,867 円(3.20%)	6,261 円(2.15%)	2,606 円(1.05%)
300 人以上計	32	31,081 人	9,000 円(3.25%)	5,736 円(2.07%)	3,264 円(1.18%)
計	132	40,606 人	8,714 円(3.29%)	5,447 円(2.06%)	3,267 円(1.23%)